



兵庫県肝疾患専門医療機関

編集・発行 情報委員会  
神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25  
電話：(078) 612-5151  
URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

愛と健康の

# かけはし

2019年1月発行

No. 67



## 「医学の進歩と日常診療の革新」

キム スリヤン  
院長 金守良



●希望多い2019年を迎え、新年のごあいさつを申し上げます。

●2018年の日本の医学・医療界で最も特筆すべき出来事は、何といても本庶 佑 京都大学名誉教授の癌に対する免疫療法（免疫チェックポイント療法）の理論的根拠を与えたPD-1、PDL-1分子発見に対するノーベル医学賞の授与でした。本庶教授のノーベル賞授賞は医学・免疫学における重要な発見に留まらず、癌治療の日常臨床を変える可能性を秘めた意味合いをもっています。すなわち、癌を攻撃するTリンパ球（血液の中にある白血球の一種類）にブレーキをかけていた『PD-1』という分子を阻害する注射薬ニボルマブ（オプジーボ®）（小野薬品工業株式会社・ブリストル・マイヤーズスクイブ社）は肺・腎・頭頸部・胃・皮膚癌（メラノーマ）・リンパ腫に対して延命効果が認められ、現在保険認可され、当院でも数名の患者様に投与されました。免疫療法は、外科手術、抗癌剤投与（分子標的薬を含む）、放射線治療などの現在までの癌治療に加えて、第4の治療法としてすでにその地位を獲得しました。

●ただ、オプジーボ®の一つの問題として、この薬がどのような患者に効果があるかどうかという点（医学的にはバイオマーカーと呼びます）が不明なことです。たとえば、肺癌に効果があるのは20～30%の患者であり、残りの70～80%の患者は効果がなく、高額な薬が無駄になることから、医療経済上の問題も提起されています。しかし、2018年12月の新聞記事によれば、同じく免疫治療薬であるペムブロリズマブ（キイトルーダ®）（MSD株式会社）の臨床治験が行なわれた結果、あるバイオマーカー（サテライト不安定性）検査を用いて有効な癌の存在（約20%）が明らかになりました。そして、2019年春から上記のバイオ

マーカー（サテライト不安定性）検査の保険認可と検査が陽性の癌に対して、キイトルーダ®が血液癌を除くすべての癌に対して保険適応となる見通しであることが報道されています。

●以上の免疫治療の進歩は、予後不良の癌に苦しむ患者様にとって朗報であることはいうまでもありませんが、一方で癌診療にあたる我々臨床医、医療従事者にとっても重要な問題を投げかけています。

●免疫学のみならず、現代医学・医療は日進月歩ということばでは表現できないくらいの速度で進歩しています。最新の医学の進歩に対応し、その成果をとり入れ癌治療をはじめとする日常診療を革新することが我々に要求されています。

●昨年創立30周年を迎えた当院は、新たな出発をしました。創立31周年目の本年も創立時に掲げた我々のめざすもの、『1.まごころと良心をもって診療にあたり、患者の生命と健康を守る。2.最新医学の成果をとり入れ、患者に最高の医療を提供する。3.地域・同胞社会の人々と力を合わせ、患者の医療を受ける権利を守る』を片時も忘れることなく患者様や地域住民の皆様方の生命と健康を守るため、職員一同全身全霊を傾け、着実に日常診療を実践する考えです。

●皆様のご支援とご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



# インフルエンザの流行期に入りました!

■インフルエンザは毎年、1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。当院でも年が明けてから患者さまが増えています。インフルエンザは感染力が強く、潜伏期間が1～3日(平均2日)と短いため、適切な期間に適切な対策を実施することが感染を予防するために大切です。

■当院では、流行期には入院患者さまの外来への出入りや、面会患者さまの制限を行っています。病院内での感染の拡大防止にご協力をお願いします。

■インフルエンザは、通常、急に高熱が出て、のどの痛みや筋肉痛のような症状が出ますが、ワクチンを接種されている場合や、高齢者の場合は「高熱が出ない」、「のどの痛みがない」など、症状だけで診断を行うことが難しい場合もあるので注意が必要です。

■「うつらない」「うつさない」ために、人ごみに出かけるときはマスクを着用し、外出後は手洗いとうがいを行いましょう。



■インフルエンザは咳やくしゃみの時に口から飛んだウイルスを含む小さな飛沫を吸い込むこと、その飛沫が付いたものを触った手で、自分の鼻や口や目などの粘膜を触ることで感染します。くしゃみや咳が出るときは、マスクや、ティッシュなどで口や鼻をふさぎ、周りの人に飛沫が飛ばないように「咳エチケット」を守りましょう。



おめでとうございます!

## 神戸市 看護のともしび賞

神戸市看護のともしび賞は、看護業務に業績のあった神戸市内の看護職員を表彰し、看護業務及び地域医療の向上発展を図ることを目的として平成5年度から実施されているものです。助産師、看護師または准看護師免許保持者で、神戸市内の医療施設でこれらの業務に従事され、現在勤務されている医療施設で、ある一定の期間、勤続されていることが選考基準となります。当院では、平成20年、21年、23年、26年、28年に続き、6人目の受賞です。

### 受賞者コメント

この度は「ともしび賞」という貴重な賞を頂き、ありがとうございました。病院長をはじめ職員の皆さま、患者様とご家族、そして支えてくれた家族に感謝致します。

私が看護の道を選んだのは、今は亡き父の「お前は看護師に向いている」という言葉でした。人間の一番大切な尊い命に携わる看護の仕事に就いたことは、私を人間として成長させてくれ、内容の濃い人生にしてくれました。

これからも、慈しみの心を持って患者様に寄り添える笑顔の素敵な看護師でありたいと思っています。今後とも、どうぞよろしくをお願いします。

看護部 主任 小南 雅子



# リハビリテーション科の取り組み

●当院では、リハビリテーションの一環として、折り紙の得意なスタッフの指導の下、患者様に四季折々の行事や動植物などを折り紙で作っていただき、その作品でリハビリテーション室の飾りつけをしています。

●折り紙は、色とりどりの紙を折り、好きな作品を作り上げるアートです。元来、日本の伝統的な遊びの一つですが、手先を使った精密な動きによる脳の活性化の効果が見直され、現在では広く幼児教育(知育)や高齢者のリハビリにも活用されています。折り紙をすることは、集中力や豊かな発想力を育み、理解力や空間認識能力を鍛え、認知機能を高める、まさにリハビリにはうってつけの“遊び”なのです。

こうして出来上がった作品がリハビリ室の窓や壁に飾り付けられ、患者様の日々のリハビリを応援してくれています。

●昨年のクリスマスには、サンタさんやツリー等の折り紙を近隣の保育所の子供たちにプレゼントしました。子供たちの喜ぶ顔を想像しながらの折り紙は、やりがいやコミュニケーションをも生み出します。

●リハビリテーション科では、このように楽しみながら出来るリハビリで、患者様の精神的な負担を取り除きながら効果を上げる取り組みを続けています。

●ご興味のある方は、かわいい折り紙や塗り絵でいっぱい飾り付けられた当院のリハビリ室を是非1度のぞいてみてください。



## 『クリスマスコンサート』を開催しました



●12月8日(土)、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。

●今年は、ゲストに「Venus Mum Ringers(ヴィーナス マム リンガーズ)」様をお招きして、ハンドベルの演奏をしていただきました。当院では初めてのハンドベルコンサート。ずらりと並んだハンドベルは、小さいもので約200グラム、大きいもので約8キログラムの重さがあるといいます。総勢16名で、クリスマスソングを中心に数曲演奏してくださり、何曲かは患者様や私達も一緒に歌いました。そのおごそかで、澄んだ美しい音色にうっとり、心洗われる思いがしました。とてもクリスマスらしい演奏でした。

●もう一つの出し物は、こちらも初めて、看護職員による腹話術で、そのクオリティの高さに「こんな隠れた“技”を持っていたとは…」と、他の職員もビックリ。患者様と共に、大いに盛り上がりました。

●そして、昨年同様今年も、“岡サンタ”がやってきました。今年は新たに、カワイイ応援スタッフと一緒に。

●今年も多くの方にご参加していただき、楽しい時間を過ごすことができました。



# 【粕汁】



●酒粕は日本酒のもろみを压榨した後に出来るろ過残存物です。近年『飲む点滴』とも呼ばれて人気の『甘酒』の材料にもなるこの酒粕の注目の成分をご紹介します。酒粕に含まれる“レジスタントプロテイン”は消化されにくいタンパク質のことでそのまま小腸へ達し脂肪を吸着し排出するため、便秘の改善、コレステロールの低下、肥満抑制の効果が期待できます。また腸内環境を整えると免疫力UPにもつながります。同じく“S-アデノシルメチニン”はアミノ酸の一種で体の細胞の中に存在している重要な成分であり、これを多く含むとされる豚レバーと比較して最大 116 倍、平均でも 27 倍含んでおり、その効果は骨の継ぎ目である関節の軟骨を増加させ関節症の症状を緩和させるというもの、そして“遊離アミノ酸”はシミなどの原因となるメラニン合成を促すチロシナーゼの働きを抑制します。

●そんな、嬉しい栄養満点の酒粕を使って、寒いこの季節、からだの芯から温まる粕汁を召し上がってみてはいかがでしょうか。

## 材料 (2人分)

鮭: 2切れ	酒かす: 50g
大根: 70g	だし汁: 400ml
人参: 30g	塩: 少々
こんにゃく: 20g	醤油: 4g
薄揚げ: 1/2枚	味噌: 6g

## ■栄養量 (1人分) エネルギー: 237kcal 塩分: 1.5g

- 作り方**
- だし汁に短冊に切った大根、人参、こんにゃくを入れ煮込む。
  - 野菜に火が通ったら一口大に切った鮭と薄揚げを入れて煮る。
  - 酒かす、塩、醤油、味噌を入れて味を調える。  
\*この際、酒粕と味噌を入れたら、風味が飛んでしまいますので、グラグラ沸騰させないように注意してください。
  - 仕上げに青ネギを散らして出来上がり。
- ※アルコールの弱い方は味噌を入れる前に沸騰させてアルコールをとばして下さい。



## 新入職医師のご紹介



内科  
ふじい たかこ  
**藤井 貴子 先生**

(東京医科歯科大学平成 13 年卒)

月・水・木・金の勤務です  
病棟管理・救急 担当

日本消化器外科学会 指導医、  
日本肝臓学会 専門医、日本移植学会 認定医、  
ICD(インфекションコントロールドクター)

1. 当院の印象はどうか？  
- とてもあたたかい雰囲気です。接して下さる組織だと思いました。
2. ご出身はどちらですか？  
- 香川県。
3. 今、夢中になっていることは何ですか？  
- “めだか”です。改良めだかを数千匹飼育しています。
4. 宝くじで1億円大当たり!あなたなら何に使いますか？  
- 車を買います!
5. 病院職員としてあなたが心がけていることは何ですか？  
- 正しい診療と正しい対応です。



## 編集後記

写真は、今年の元旦に当院の入院患者様に召し上がって頂いた昼食です。(お赤飯、三種盛り(数の子・黒豆・たたきごぼう)、お煮しめ、鯛のかぶら蒸し、お雑煮と年賀状) 当院では、入院患者様のお食事を外部の業者へ委託せず、直営で調理提供しています。栄養科は、管理栄養士をはじめ調理師、調理補助合わせて11名で、四季折々の行事食も工夫し、美味しく、楽しく、栄養サポートを行っています。インフルエンザ等の感染症が流行るこの時期、皆様もこうした栄養価が高くバランスの良い食事を心掛け、年号も新しくなる今年、新年を元気にスタートさせましょう。本年もよろしくお祈りします。

(文書課 松井未佳)



## 認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 臨床研修指定 (神戸大協力型)
- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

## 交通のご案内

神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分  
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑩⑫  
「房王寺町 5 丁目」バス停より徒歩5分

